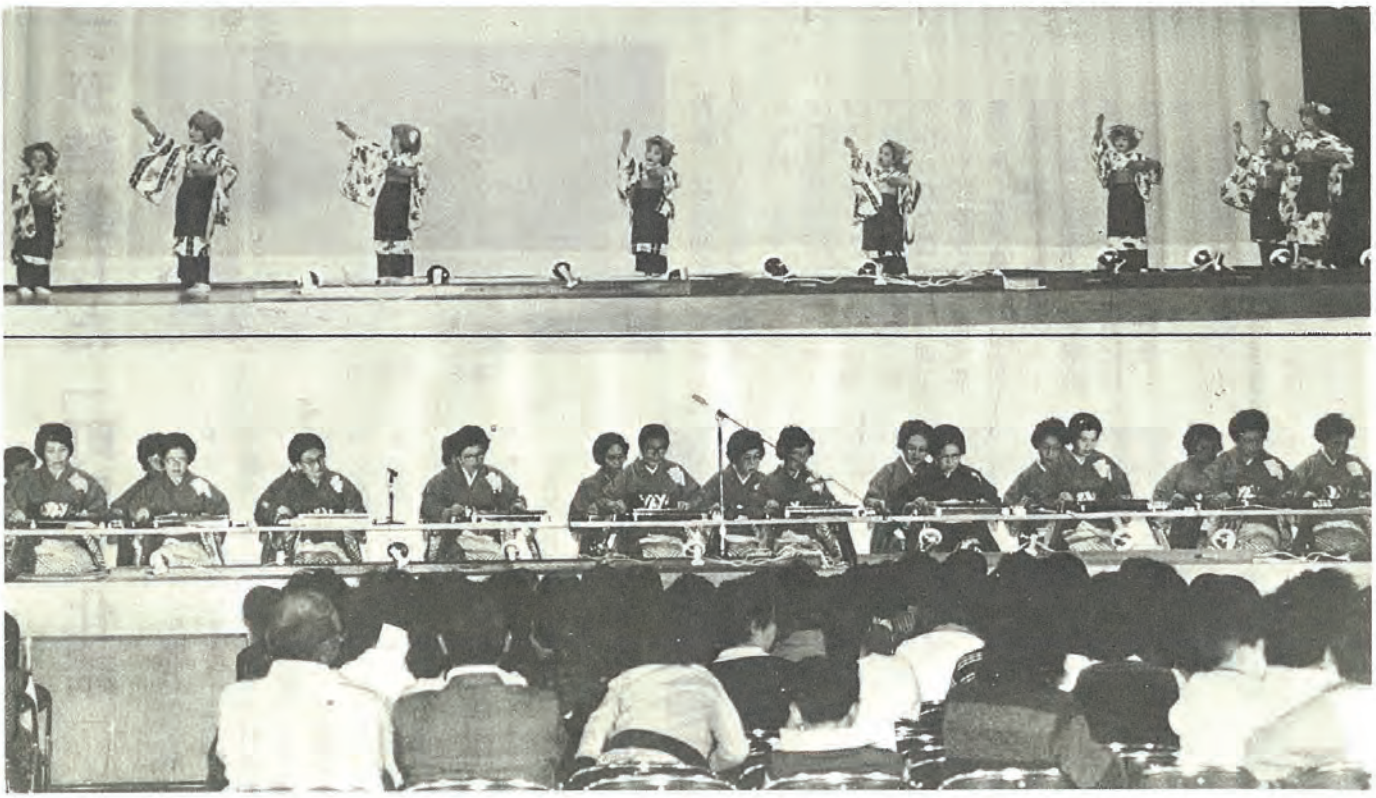
ささ町政だより

町の人口

〔10月31日現在〕

総人口	11,710人
男5,554人	女6,156人
世帯数	3,360戸
出生 14人	死亡 9人
転入 44人	転出 39人



文化の伝承は活気あふれる町づくりへ…（おどりの情景 奏でる大正琴）

＜町民文化祭＞11月1日～3日・町民体育館

おもな内容

●文化グループが結集した町民文化祭
●農業委員会功労に菊本町長【2面・3面】
●町議会全員協議会ひらく
●友田一二氏が叙勲
●商業・工業統計表彰伝達
●明るく正しい選挙推進協議会委員きまる
●国保だより（保険証の持参）【4面・5面】
●徳永氏の牛！16頭目を出産
●記入もれの方は早目にご連絡を！新成人者名簿作成中【6面・7面】
●恵まれない人々のために
●社協だより・あけぼの荘【8面・9面】
●スポーツだより【10面】
●お知らせ

こよみ

1日	●省エネルギーの日
～2日	●火災予防運動
	●歳末たすけあい運動月間
～7日	●年末交通事故防止運動
～10日	●町内駅伝競走
	●人権週間
15日	●食品の年末一斉取締月間
	●年賀郵便特別扱い
23日	●皇太子誕生日
27日	●官公庁仕事納め
31日	●年越し大はらい

発行　佐々町役場企画室（電話2－2101）佐々町本田原免168の2（〒857－03）　坪上印刷

12月

文化グループが結集した「町民文化祭」

佐々町文化協会「第一回町民文化祭」が十一月一日から三日まで住民総合センター町民体育館や広場で開らかれました。

参加団体は、佐々町文化協会（謡曲14名、舞踊94名、詩吟13名、朗詠31名、大正琴20名、コーラス23名、モダンバレエ32名、生花66名、川柳・短歌17名、写真10名、絵画7名、書道17名、盆栽25名、工芸1名、手芸6名）幼稚園、小学校、中学校、高校、文化服装学院の各グループが出演発表。また、広場では青年会員が丹精こめて作られた農産物の加工食品や野菜等の即売、茶業グループの銘茶の即売、盆栽・花卉・園芸グループによる即売と、青空園芸教室など、二十五団体（約四〇〇名）が結集しました。

詠ずる詩吟グループ

袋もの展示コーナー

菊本町長は、挨拶の中で「参加した人々の活力ある行動を見るとき〝心のふれあい〟が、こんなところからにじみ出てくるのではないか」、また「こうした機会をとらえ、自分の町は自分で作りあげる基礎づくりをしてほしい」など、意義深い文化祭のフィナーレで激励とお祝いの言葉を述べました。

今回、参加できなかった方々は、次回には是非参加いただきますようおすすめします。

また、農家のみなさんにとっては、異常気象という現象から稲作等の取り入れが遅れて参加できなかった方も、多少あったかと思いますが、次回は参加できるように祈念したいものです。

生花展示コーナー

未加入者の方へ

佐々町文化協会の会員として未加入のため、作品の展示に参加できなかったという声を聞きましたが、文化協会への加入は誰れでもいつでも、入会できます。

ただし、入会費として一人年間三〇〇円となっています。

手続きは、佐々町住民総合センター（町公民館）内、文化協会事務局へどうぞ！

園芸指導と即売会

豊かな人間関係を問う「第34回人権週間」

十二月十日は世界人権宣言三十二周年に当り、十二月四日から十日まで人権週間が始まります。人権は、何人もこれをおかしたり、おかされたりすることのできない生れながらにもっている権利です。

今年は次の三つが啓発の重点目標です。

一、人権の共存
互いに相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくろう。

二、部落差別をなくそう
みなさんも同和問題を正しく理解し、一層の認識を深めて、一人〳〵が自分自身の問題として反省し、差別観念や偏見をなくすために積極的な努力をお願いします。

三、婦人の地位を高めよう
女性ということのみで差別されている問題がまだ多く残っています。これらの問題を社会全体の力で改め、婦人の地位を高めましょう。

文化祭を顧みて

佐々町文化協会
会長 越智利宏

十一月一日から三日まで町民総合文化祭が開催されました。今年七月発足したばかりの文化協会としては第一回目の事だけに四〇〇名会員は皆一生懸命でした。基金は乏しく会員は一致団結して県芸術祭バレー公演の入場券を売ったりなどして意義ある第一回目の文化祭に備える様にと頑張りました。皆さんの努力で明るい結果が得られました。町長さんや教育委員会の先生方の御援助は私達を特に勇気づけて呉れました。幼稚園から各種学校のご協力で三日間に亘る文化祭は盛会で終りました。文化協会二十六の各グループの人々はみな熱心で其のまとまりは立派だと嬉しく思っております。今後の問題に関しましては、此の様な熱心な文化活動を通して文化の心を充分に理解し更に充実発展を画らなければと思います。作品展示の方法や出演発表の技術的な問題も研究し会員もふやして行くべきだと考えますがやはり大切なことは文化の心を広く皆んなの方々に理解して頂ける様更に更に努力をしなければと思っております。各位の御協力を切にお願い申します。尚今回の文化祭に際しまして格別のご支援と御協力を賜りました皆様に深く感謝申し上げ、一生懸命になって下さった会員の皆様本当にご苦労様でございました。

保育所・幼稚園児も文化祭の会場で熱演する舞台に集中

農業委員会設立30周年を祝う
菊本町長を表彰

戦後設立された農地、農業調整、農業改良の三委員会が統合され、昭和二十六年七月二十日「農業委員会」が発足したのであります。

その設立三十周年記念式典が十一月十二日佐世保市労働福祉会館で農業委員約五百名が参集し盛大に行なわれました。県知事、県会議長、全国農業会議所会長、地元佐世保市長らの祝辞のあと、永年農業委員会に功労された方の表彰があり、菊本町長（農業委員会長十二年）に全国農業会議所会長、長崎県農業会議会長から表彰状と記念品が贈られました。

町長おもな日誌

【十月】

26日▼入札（森林組合、保育所、総務・建設課関係（二十ヵ所）
27日▼国保連合会正副理事長会及び長崎県市町村短期対策委員会自治会館運営委員会（長崎）
28日▼県森連定期総会監査及び県市町村共済短期対策委員会（長崎）
29日・30日▼鹿児島県財部町森林組合小径木処理、植林、干伐枝打等視察（県林業構造改善協議会主催）
31日▼佐々町議会全員協議会▼県北耕地事業推進協議会

【十一月】

1日▼郡社会福祉大会運営委員会（江迎町）▼佐々町文化祭開会式
2日▼佐々町少年少女球技大会▼佐々町文化祭
3日▼県北建設工業協同組合連動会▼佐々町文化祭閉会式
4日▼世知原町制四十周年記念式典（世知原町）▼農林省、災害査定官来町
5日▼上水道建設特別委員会▼佐々川しゅんせつ打合せ会（佐世保）
6日▼町老人クラブ連合会総会
7日▼旧軍港転換法三十周年記念式典（佐世保）
8日▼議会議員と管理職親善ソフトボール大会▼廃介処理小委員会
9日・10日・11日▼全国鉱業市町村連合会役員会及び陳情（東京）
▼県国保連理事会（長崎）
12日▼辻一三氏前市長名誉市民受章祝賀会（佐世保）
13日▼入札（町民プール敷地造成）
14日▼佐々谷四ヶ町法人会（商工会館）▼入札（農民健康管理センター）▼佐々町明るい選挙推進協議会
15日▼江迎町町制施行四十周年記念式典（江迎町）▼佐世保市農協総会展示会（相浦）▼県農業ふるさと祭（佐世保）
16日▼佐々町少年健全育成会第二回スポーツ大会▼佐々町幼稚園第一回発表会▼佐々町消防団第四分団詰所落成式典
18日▼県町村会評議員会（長崎）▼県町村交通災害共済組合理事会（長崎）
19日▼入札（第五分団詰所外一）▼県北森林組合協議会理事会及総会（会長として佐世保へ）
20日▼町医師会との懇談会
21日▼臨時議会（農民健康管理センター工事契約の件外）▼農協主催町内ゲートボール大会
22日▼佐々町役場駐車場並に健康管理センター起工式▼共済組合理事会（長崎）
23日▼北松縦断駅伝競走大会▼北松農協総合展並に森林組合品評会（吉井町）
24日▼東京在住長崎県人会一行来町（山嶽）
25日▼郡社会福祉協議会大会（鹿町町）

町議会全員協議会ひらく

十月三十一日、招集された佐々町全員協議会で、町政診断の結果など、七項目にわたる説明のあと質疑応答が展開されました。

一、町政診断結果報告

委託した九州経済調査協会（長谷川恒部長）より報告がありました。

二、国土利用計画策定について

長期にわたる安定した均衡ある国土の利用を確保することを目的として、（国土利用計画法第七条）国県に基づき佐々町でも、用地別（地目）計画の策定を実施すべく、プロゼクトチームを編成しています。

県道志方江迎線新設道路一部完成（佐々川から望む）

三、過疎地域振興計画、計画参考資料報告

さきの国会で制定された「新過疎地域振興特別措置法」によって、ことしから十年間生活基盤・産業基盤など総合的・計画的な対策をたて、生活しやすい町にしようとするものです。佐々町も国や県の振興計画にもとづいて、前期の五十九年度まで、五ヵ年間の事業計画をたてました。

四、佐世保地域広域市町村圏計画報告

広域化していく社会と住民生活に有効に対処するために佐世保広域圏（佐々町も含む一市十三町）が発足して八年を経過し、一次二次三次のそれぞれの産業の活力ある展開をはかりながら、美しい自然にみちた圏域にすべての人々がゆたかな心をもってくらしていけるように、そのことを最終目標として当面する課題の解決に向けて計画をすすめています。

五、佐世保モデル定住圏計画報告

一市十三町を範囲とし自然・生活・生産の各々の環境の調和のとれた総合的居住環境を整備することによって、住みよい、魅力のある地域をつくりあげ、若年層の地方への定住をねらいとする「定住構想」県の策定計画です。

六、伊万里北松地域開発（西九州北部地域開発）整備計画調査報告（佐々町関係の整備計画）

◎国鉄松浦線の存続

◎国道二〇四号の整備

・佐々地区バイパスの新設

・大野～皆瀬～下本山間バイパスの早期完成

◎地方道の整備

・県道志方～江迎線の改良舗装促進

・県道佐々～鹿町～江迎線の改良舗装促進

・県道相浦～棚方佐々町線の早期着工

◎佐々川河川総合開発事業の促進

友田氏が叙勲の栄誉

▼勲五等瑞宝章▲

受賞の友田一二さん（口石）

秋の叙勲で佐々町からも友田一二さん（74）が、四十年間の教壇生活の中で、特に戦後の混乱期における教育改革期に校長として尽された功績は顕著であったとして勲五等瑞宝章を受けられました。

今は、老人クラブや町内の世話をしておられるが、受章を機会に地域社会とのつながりをさらに深めたいとのことです。

晴れの受章　おめでとうございます

通産大臣からの統計表彰を菊本町長より伝達（役場応接室で記念撮影）左から渡辺、町長、小山、前田の各氏

統計功労者を表彰

通産局では、工業・商業統計等に多大な功績があった個人二名及び二団体を表彰しました。

その通達をうけ、菊本町長は、十月三十日、晴れの受賞者を役場に招いて伝達を行うとともに労いの言葉と、今後一層の御支援ごべんたつ御協力をお願いしますと述べました。

受賞者は次のとおりです。

◎工業統計功労

通商産業大臣表彰＝長崎山喜㈱　長崎工場

通産省調査統計部長表彰＝同　事務員　前田奈緒子さん

◎商業統計功労

通商産業大臣表彰＝㈱芳の浦ストア

通産省調査統計部長表彰＝同　渡辺晃さん

明るい選挙推進協議会委員きまる

先きに、任期満了になっておりました、佐々町明るい選挙推進協議会委員が部落及び佐々町選挙管理委員会の推せんにより12月1日を以って、決定しましたので、お知らせします。（敬称略）

尚、新委員さんは次のとおりです。

会長　青木潤吉
副会長　斉之平清二、長谷川保治
委員
福田儀一、宮原長男、西尾円作、大石末吉、本山順一
井上永男、山永美義、高木義隆、池田廣、小林福次郎
菊永国一、力竹シズエ、浦君枝、林鶴雄、天羽季雄、田嶋實、村川一雄、森林美智恵、長谷山安夫、帯山勝見、山崎悟、山口八郎、松瀬茂、谷山好徳、大瀬修蔵
下利啓三
学識経験者
横尾辰雄、宮村宇一郎、久家ミチ、貞松トミ、前田好古、平田進、友田義衛、林有道
顧問　宮本宏、廣川敏麿

おめでた　おくやみ

ご結婚おめでとう

部落	氏名		部落	氏名	
夫	松崎世志広		夫	稲田　正	
妻	杉　美奈子		妻	力竹　美紀	
夫	福田　雄二		夫	田島　富男	
妻	荒木　有子		妻	梶原ミチコ	

お誕生おめでとう

父の名	母の名	続柄	出生児
北川　司	はつみ	長女	容子
部落	里山	驚尾	浜迎
芳浦	江里		

藤澤伸二　ミツ子　長男　太一　新町
東　鐵八　伊佐子　三女　千陽　新町
赤木　勇　節子　二女　和美　芳浦
上野　利郎　節子　二女　美樹　中央通
若松　繁雄　律子　長男　憲二　中央通
杉村　光雄　洋子　長女　沙紀　市瀬
北川　芳男　絹枝　四女　真由美　江里
久家　幸二　幸子　長女　章子　新町
迎　孝一　千鶴子　長男　貴幸　古川
近松　紀行　シズヨ　二男　誠一郎　神田
北川　茂次　恵美子

ご冥福を祈ります

部落	氏名	年令		部落	氏名	年令	
北川	保子	46才	長女	佳子	里山		
近藤	ヒチ	73才	川原田	浩	美貴子		
宮本初五郎		85才	二女	愛子	中央通		
河津	澄子	43才	久男	和代	沖田		
富永	龍美	32才	二女	真美	木場		
森	ハツヨ	75才	長女	純子	口石		
松本	義雄	54才	健作	朋子	新町		
藤永	正二	51才	松田	晶子	里山		
磯邊	トク	83才	久男	幹子	新町		
松野ヒサ子		64才	二女	すみ子	四ツ井樋		
坂元	光次	77才	永安	美樹	東町		
福田キクノ		80才	義孝	里	土手迎		
相浦	松雄	69才	長女	知亜紀子	新町		
大浦	ハツ	78才	健一		四ツ井樋		
大場市太郎		87才	山藤		江里		
岡	竹次郎	72才	長女		新町		
前川	嘉蔵	85才			里		
堀田	秋造	71才			鴨川		

（十一月十五日まで受付分）

国保だより

診療の際、保険証を持参していますか？

①〈保険証が使えない場合〉

国保でお医者さんにかかるときは、保険証を持参して診療をうけるのが原則です。保険証を持参しないで診療をうけると全額自己負担となります。ただし、次のような、やむを得ないと国保が認めた場合はあとで領収証によって払いもどしを受けられます。

たとえば急病で国保を扱っていない病院へかつぎこまれたようなとき、または旅先で急病にかかり、保険証を持ち合わせていなかったようなときは全額自己負担になりますが、保険者（市町村）が緊急やむを得なかったと認めた場合、あとで払いもどしを受けられます。払いもどされる額は、国保で診療を受けた場合を基準として、その七割分です。

なお、出かせぎ、長期の旅行などのため、あるいは就学のため、他の市町村に住むというようなときは、一世帯に一枚の保険証では間にあいませんので、こういう場合、その被保険者のため、特にもう一枚の保険証の交付を受けることができます。国保の係へご相談ください。

※保険証は健康へのパスポート

※診療の際は、保険証を忘れないように持参してください。

消防訓練に四季はない

佐世保市西消防署では、十一月十八日、小浦街道で定例の消防訓練を行いました。

この訓練は、消防関係機関の緊密な連けいと消火・避難体制を確立するため、毎月一回ほど各町で実施しているものです。

これからは寒さが日増しに厳しくなり、各家庭では石油ストーブなど、火を使うことが多くなります。万一に備えて、各家庭でも火災に備えて火の用心につとめましょう。

小浦地区で放水訓練

事業入札状況　（11月19日現在）

事業名	入札期日	請負業者名
神田地区地籍測量委託事業	10月22日	実光測量
盲ヶ原線舗装工事	10月26日	谷川建設
東町線法留工事	〃	加田建設
小浦床版橋工事	〃	嶋藤建設
志方川護岸災害復旧工事	〃	中井産業
羽須和川護岸整備工事	〃	谷川建設
西町地区下水排水路整備工事	〃	加田建設
里地区防火水槽工事	〃	玄洋建設
堅山地区敷地造成工事	〃	県北建設
宮の前地区防火水槽工事	〃	石田工務店
牟田原線舗装工事	〃	九州道路
小春露切橋線舗装工事	〃	中外道路
江里線支線舗装工事	〃	〃
佐々町駐車場建設工事	〃	岩野組
第２保育所敷地補修工事	〃	石田工務店
第３保育所運動場敷地工事	〃	加田建設
神田駅舎改築工事	11月１日	石田工務店
西町地区道路改良工事	11月13日	中井産業
町道古堂線新設工事	〃	谷川建設
千本公園プール敷地造成工事	〃	岩野組
農業構造改善村落特別対策健康管理施設工事	11月14日	力丸建設

イサオ号16頭目を出産

飼育の手伝いも忙しい奥さんとばあちゃん（イサオ号の母牛と子牛）

昨年、町政だより（九月号）から一緒に育った仲である。

「あすの農業」で紹介しました木場の徳永牧場（徳永龍三さん27才経営）で、イサオ号という牛が予定どおり十月一日、十六頭目を出産しました。

また徳永さんは、人工授精師でもあり、自ら「イサオ号」の授精からお産にもあたられるなど各方面に育成牛、繁殖母牛の経営指導にも人気上々という近況。

牛の十六産は、全国でもめずらしいとさえいわれ、徳永さん一家は喜びもひとしおだった。

この徳永龍三さんを支えているのが妻のトミ子さん（二男一女の母親）と椙衛さん、キクさんの両親です。トミ子さんは柚木町から嫁いで来て四年半余り、すっかり木場の土地にも馴じみ、妻の役割は勿論、おしゅうとさんと一体となって牛舎の手入れや牛の飼育に頑張っておられます。

話題

37年に生まれた「イサオ号」は飼い主の徳永さんと幼ない頃

育林コンクールへ参加を!!

北松南部六ヶ町管内の林業振興をはかるため、育林コンクール（下刈、除間伐、枝打）を開催します。参加申込みは各地区運営委員を通じて役場農林係又は北松森林組合まで来る十二月二十日迄に申込んで下さい。

詳細は北松森林組合（TEL３-２３０５）へおたずね下さい。

造林用苗木の申込受付

来春に造林計画をされ、苗木を希望される方は申込みを受付ますので十二月十五日迄に北松森林組合か役場農林係へ申込み下さい。

なお価格については昨年より約一割程度値上りが予想されます。

料理飲食等消費税の公給領収証を必ず受け取りましょう。

新成人者名簿を作成中

記入もれの方は早目にご連絡ください

昭和五十六年一月五日、新成人者を祝う式典を佐々町民体育館で午前十一時（受付十時）から開催する予定になっておりますが、これに出席される成人者名簿を作成中です。

（九月末住民台帳しらべ）洩れている人は教育委員会へ連絡して下さい。

（電話②2128番）

成人者名簿

古川
内田明文　山本　元　友重くみ　松本孝雄

中央通
前田直弘　笠原浩二　平山仁之

野寄
久野智代　竹内美恵子　筒井和子

栗林
近藤春美　中倉敬子　山下庸子　野中勝二

里
前川美千代　峯松良江　石岡芳昭　坪上京子　徳田令子　坂本容子　末富照彦

新町
迎雅治　川頭相子　山口佐千夫

里山
中山明嗣　久原恵美子

木場
福田早苗　本竹利秋　辻千恵子　徳永良子　辻　伸輔　徳永博美　岡村浩一　松田恵子

前田和義　川野重信　前田義範　前田誠司　前田幸則

口石
山永富美子　山口雅弘　友田嘉人　横田恭子

四ツ井樋
川端光徳　淡川多津子　田崎節子　永安喜代子　福田マスヨ　松田文代　永安浩二　永安菊美　副島由加里　末永由美子

水道
福田富美子　牟田真由美　井龍民子

浜迎
力竹哲也　松本明子

土手迎
江口武志　荒木孝之　永安なみ　松本ゆみ子　永安けいこ　福本正子　福田貴子

真申
中村正吾

芳ノ浦
木寺真由美　山川容子　木場ひとみ

東町
前田加代子　伊藤孝一

西町
広川幸増　片渕和博　柿本秀一

市瀬
金子容子　木寺美智子　森哲也　松田浩二　福田義弘　前田和枝　田島吉一　岩永親悟　磯田英二　藤原祐美子　岳野朝子　久保　覚　広島洋美　前田美恵子

鷲尾
田村美由紀

神田
石田　博　大瀬一徳　大瀬みほ子　川内野良子　柘植ちとせ　池田康子　龍園美智香　升水洋子

角山
富永宏美

江里
北川慶子

大茂
大久保祐子　湯村光夫　前川勇二

沖田
辻　初代

固定資産税 第三期分の納期は 十二月十五日から二十五日までです。

随筆郷土誌 (76)

宮原九一郎

大正時代の佐々(26)

炭　鉱（その一）

佐々皿山の三代目の陶工福本新右衛門は、皿焼きを止めた後文化十二年（一八一五）に石炭口銭方、仝年十二月には、勘定場に於て石炭山見計役仰せ付けらる、天保七年（一八三六）には、石炭掘方、嘉永二年（一八四九）には、当役仰付けられ、門御免、とその系図に書いてある。

当時既に炭鉱があったことを証明するものである。「仰せ付けらる」とは殿様から辞令を貰った意味であり「門御免」とは自分家に門構えをするお許しがあったことを言う。誰でも勝手に門を建てることは出来ない時代であったから、その当時、石炭と、石炭に関係する役人が可成り重要視されていたことが分る。佐々で開発され、又消えて行き、大正は炭鉱の最も低調な時代。

私は大正三年に小学一年生、志方の萩の原の奥の太田山が出炭に漕ぎ着けながら、坑内の事情が悪くて間もなく止め、次いで志方と大茂の間に三菱が開坑。これも機械力不足で採炭機能を発揮せず数年で閉山。

里山だけは当時までは健在で順調に出炭していたらしい。子供の時だから炭鉱には一度も行ったことはないが、水月は既に二〇〇年も前から石炭の採掘が行われ、明治時代には県外、特に京都や東京の資本家によって幾つもの炭鉱が旅館の後あたりの佐々川の旧堤防が里山の貯炭場となっており、大八車で運んで来た石炭を学校の行き帰りに見て通った。

仝佛（ぜんぶつ＝現鴨川部落の奥）や梅の木あたりでも細々と採炭していたらしく、時折「ごんごやま」と聞かされた。ごんごは五合であり、炭鉱の経営が苦しい為、従業員に対して毎日米五合代の支払いしか出来ないので、ごんごやまと言うとの話であり、まことに失礼な言い草であった。

社会福祉協議会だより

寄付のお礼

◎香典返しとして

▽故宮本　初五郎殿
　四ツ井樋　宮本　幸俊殿
▽故近藤　ヒチ殿
　栗林　近藤　鉄也殿
▽故永田　重一殿
　志方　永田　キクエ殿
▽故坂元　光次殿
　里山　坂元　ハルヨ殿

匿名の寄付

匿名で多額の御寄付をいただき、御主旨にそうよう有意義なことに、使用させていただきたいものと考えております。

以上の方々からご寄付を戴きましたので紙面をもって厚くお礼申し上げます。

社会福祉法人
佐々町社会福祉協議会
会長（佐々町長）菊本春夫

心配ごと相談

◎毎週水曜日　午後一時
◎老人福祉センター
どうぞご利用下さい!!

表彰のお礼

十一月七日開催されました長崎県社会福祉大会におきまして県共同募金会から『赤い羽根共同募金』十年間目標完遂の表彰を受けました。これはひとえに町民皆様方の温い御協力の賜と深く感謝いたしております。

社会福祉法人
佐々町社会福祉協議会
会長（佐々町長）菊本春夫

ひとの心の暖かさ

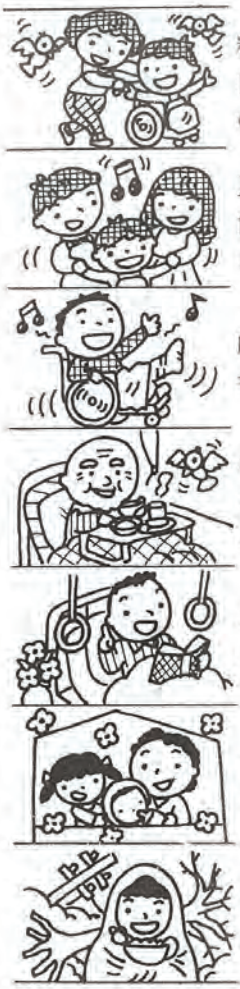
恵まれない人々のために

歳末たすけあい運動

「第三十回ＮＨＫ歳末たすけあい運動」が十二月一日より、全国的に実施されます。

この運動は、住民の自発的意志に基づく地域のたすけあい運動として義援金の寄託を募り、生活困窮世帯、社会福祉施設の対象者、長期入院患者など、広く配分対象者に見舞金を贈ります。年の瀬を控え何かと出費多端の折とは存じますが、主旨をご理解いただきまして、ご協力を宜しくお願いいたします。

社会福祉法人
佐々町社会福祉協議会
会長（佐々町長）菊本春夫



ボランティアのおすすめ!!

ボランティア活動が、いくら自分から進んで人のため、社会のため役立つことをすることとは云っても、その活動が、一方的に他に尽すだけで終始するのでは、やがて虚しさがフット胸をよぎることになり、決して永続きしないでしょう。ではボランティア活動を通じて、あなたは何を得ることができるのでしょうか。それはあなたは少くともボランティア活動で次の三つを得ることができるのではないでしょうか。

一　自己実現

総理府の調査によると国民の七六パーセントもの人々が社会の役に立つことをしたいと思っているということです。そうであれば、ボランティア活動は人々の社会参加の意欲社会の役に立ちたいとの意欲を満足させることができるといえましょう。

二　人間理解

ボランティア活動を続ける中で多くのボランティアの人々は「人間とは何か。」「どう生きるべきか。」ということに真剣にとりくみ、自分の人生観を確定する機会に恵まれるはずです。

三　社会創造

多くの社会的な矛盾や問題点、人間関係の困難さにぶつかり、それなどを解決していく中でよりよい社会をつくりあげるにはどうしたらよいか。真剣に考え壁にぶつかりやがてその実現をめざして努力すべきだということを学ぶことができるでしょう。

〔12月行事予定〕

△毎週金・日曜日おどりの日
午後一時から三時半まで
◎第一・三水曜日詩吟のけいこ。正午から三時半まで
◎二十一日第三日曜日月例演芸会、年忘れ演芸会
◎休館のお知らせ
◎二十八日から翌年一月三日まで
尚、二十八日は午後より大清掃のためお風呂は休みです

スポーツだより

山本健一選手(九州一周駅伝競走)
九度目の出場

十一月九日から十九日まで十日間、九州路に展開された「九州一周駅伝競走」に九度目の出場を果した佐々町役場の山本健一選手（角山）は主将としての重責を担いながら本県の不振を奪回しようと、自ら四回の出走に健闘しました。残念ながら本県は第八位の成績となりましたが、来年の躍進に期待しましょう。

守備・攻撃やマナーが良いとの評判だった少年ソフト(佐々中)

尚、九日目（大分～亀川間十八・七km）は区間第二位で大いに本県の名声を高くあげたことを賞讃したい。

町内一周駅伝競走大会

とき　12月7日(日曜日)　午前10時スタート
コース　▶住民総合センター裏～神田駅前（新設神田市瀬線入口ロータリー経由)4.6km～皿山公園入口 1.8km～古川公民館前2km～小浦駅前3km～住民総合センター前 3.4kmの5区間。
※沿道でのご声援をおねがいします。

新町が両種目に優勝

十一月二日、佐々町青少年健全育成会主催による第一回目の球技大会が佐々中学校運動場（男子ソフトボール）及び千本運動公園（女子ドッジボール)で開らかれました。
成績はつぎのとおり。

⊙ 女子ドッジボール
優勝　新町
準優勝　市瀬
第三位　古川、中央通り
志方

⊙ 男子ソフトボール
「Aコート」　「Bコート」
優勝　新町　市瀬
準優勝　里山　里鉄道

県民体育大会
本町から37名出場

十一月八日から九日まで開らかれました長崎県民体育大会（長崎市内）へ北松浦郡の代表選手として、佐々町から三十七名が出場し健闘されましたので、選手を紹介します。
▼陸上＝堤教一（五千M）、原勝義（砲丸投・百M）、井上博（走高跳・走巾跳）▼卓球＝吉永俊幸、田崎祐二、須藤則浩、松田文代▼柔道＝松田征男、佐々木繁、坂口孝之淡田邦夫▼弓道＝松瀬保人、石田武春▼軟式庭球＝斉藤邦博、浦川由美子、松永久美、梁井並次、作元昭人▼バドミントン＝山口光義、石田忠男磯本千代子、前田保子▼剣道＝力武征次、永岡敏昭、西吉隼志▼バレーボール＝一ノ瀬明則、高増浩一郎▼バスケットボール＝前田多聞、筒井輝幸、矢島安広、山口正秀、松田弘海▼山岳＝古市三貴生、横田憲治、平絹子▼銃剣道＝森田謙介、浜野末雄
（敬称略）

県中学駅伝 佐々中善戦

長崎県中学校駅伝大会は十一月十五日、諫早市の県立総合運動公園で開かれました。
県内郡市代表の三十一校が六区間、16・91kmに健脚を競いました。
この大会に佐々中学校が強豪相手に善戦、第十二位の成績を収めました。
（永安智則、島口勝裕、金丸慎二、須藤明、藤永直紀、松田明の各選手）

準優勝と躍進賞は
佐々町チームへ

十一月二十三日、北松縦断駅伝競走大会が松浦市民会館前から佐々町役場前41・9km七区間で行われました。
佐々町は、五個の区間賞と大会新記録を樹立したものの松浦市にわずか十五秒の差で惜しくも優勝を逸しました。
各区間の成績は一区①坂口正喜、二区①林敦、三区③力武一夫、四区①友田千利、五区①池田弘志、六区②堤教一七区①山本健一

第二回
少年スポーツ大会

佐々町少年健全育成会「少年スポーツ大会が、十一月十六日、町民体育館、武道館、佐々中グラウンドの三会場に約三百人の参加で開いた。

【剣道】▽高学年の部＝①下利敏智②堀野雅樹③森研造、川島秀貴▽低学年の部＝①大村真②野田秀樹③西村和展、小田勝博▽女子の部＝①森千佐子②永田美樹③松田麻子

【柔道】▽高学年の部＝①友広健治②中村浩幸③山崎康彦▽低学年の部＝①福田洋隆②松野健太郎③今里悟志

【空手】▽高学年形の部＝①大瀬弘一②中村敏彦▽低学年形の部＝①徳永和子②山下奈美江▽高学年組み手の部＝①浦田正剛②大瀬弘一▽低学年組み手の部＝①中村忠彦②寺田三男

【バレーボール】▽A・Bクラス共＝①大岳②わしお

【サッカー】▽A・Bクラス共＝①口石②佐々

◎年末の電話工事は混みますので、十二月十五日までに申し出て下さい。
◎夜の電話が約四割から六割引にお安くなりました。
※くわしいことは佐々電報電話局へおたずねください。

役場の電話は
2−2101です

12月のお知らせ

原爆被爆者の子の無料健康診断

受診希望の方は申し込んで下さい。

次の３点とも該当し、昭和54年度末受診者

①原爆被爆者の子

②原則として６才以上

③受診希望者

申込の方法 ＝ 郵便はがき又は役場・保健所の窓口に備えつけの受診申込書に次のことを記入して役場・保健所へ提出して下さい。

◎記入事項 ＝ 原健希望、①住所、②氏名、③生年月日、④電話番号

◎締切日 ＝ 昭和55年12月20日

その他くわしいことは長崎県原爆被爆者対策課（電話0958−23−4278番）又はもよりの保健所へおたずねください。

妊婦検診

11日㈭9：30〜11：30
住民総合センター

乳児検診

11日㈭　１ヵ月生〜４ヵ月生
18日㈭　５ヵ月生〜８ヵ月生
25日㈭　９ヵ月生〜12ヵ月生

無縁墳墓の改葬をします

◉兵庫県加西市下宮木町字沢ノ坪651番地の1にある下宮木町墓地を同町字西ノ山521−30、521−31番地に墓地移転のため改葬されますので、縁故者は12月９日までに加西市役所同和対策室へ（電話07904−2−0560番）

◎熊本県菊地郡旭志村大字川辺1309−23の西沖にある墓地を環境整備による移転のため、菊池郡旭志村大字川辺1299番地の４へ改葬されますので、縁故者は12月27日までに同村役場民生課へ（電話0968−37−3111番）

消防用機器に関するアイディアの募集

着想（ほんの思いつきでも結構です。）、発明、考案を募集して、これを消防用機器資材の改良向上に役立たせ、もって科学消防の確立に寄与することを目的とします。

①締切日　12月30日㈫

②送付先　消防大学教材研究会事務局（東京都三鷹市中原３−14−１

③入賞　１等１名　20万円
２等１名　10万円
３等２名　５万円
佳作　１万円

畜産実技研修生募集

畜産経営を志す若人の育成のため、昭和56年度の研修生を募集しています。

①募集人員10名、②修業年限１ヵ年、③応募資格＝中学又は高等学校卒業者、④受付期間＝56年２月１日から２月末日まで。

詳細は長崎県田平町小手田免19長崎県種畜場（ＴＥＬ09505−⑦1684）に問い合せ下さい。

公営住宅入居補充補欠者募集

１、受付期間＝昭和55年12月１日から27日まで

２、受付場所＝佐々町役場総務課管財係

３、申込資格＝①現に同居し、又は同居しようとする親族があること。②現に同居し、又は同居しようとする親族がない方で、次の一に該当する者イ、60歳（女子は50歳）以上の者。ロ、身体障害者。ハ戦傷病者。ニ、原子爆弾被爆者。ホ、生活保護者。ヘ、海外からの引揚者。

③公営住宅法施行令に規定する基準の収入のある者。

４、提出書類＝①公営住宅申込書。②入居しようとする親族で収入のある者全員の収入証明書。③無職者は、無職証明書（各地区の民生委員の証明によるもの。④共済組合員証社会保険証　、国民健康保険証特別被爆者手帳、身体障害者手帳等。⑤生活保護、年金、失業保険等の受給者はその証明書。⑥婚約者の場合は、婚約証明書、収入証明書又は婚約者が無職或は退職することが明確な場合は、無職証明書か雇主の退職予定証明書を添付して下さい。

５、受付有効期間＝昭和56年１月から３月末日まで。（空家発生の場合の補充です。）